



麻しん(はしか)患者と接触があった方へ

麻しん(はしか)を発症された方と接触があったことが確認されました。
接触後5日～21日は発症する可能性がありますので、以下の対応をお願いします。



接触後5日目～21日目までの健康観察を

- 接触があった日を0日目として、接触後5日目～21日目まで（健康観察期間）は、毎日、体温（毎朝・夕の2回）や症状の有無を確認してください。

麻しんの可能性がある症状

- ✓ 発熱（37.0℃以上／小児の場合は37.5℃以上）
- ✓ 咳、鼻水、のどの痛み
- ✓ 目の充血、目やに
- ✓ 口腔粘膜の白いぶつぶつ
- ✓ 発疹

健康観察期間

月 日 まで
ご自身で記載してください

- 症状がなければ、外出への制限はありません。ただし、健康観察期間中は人が集まる場所を避けるなど、周囲に感染させないためのご協力をお願いします。



ワクチン接種歴の確認を

- 麻しんワクチンの2回接種が、発症や重症化の予防に有効です。
- ご自身、同居のご家族、一緒に来院された付き添い者などの接種歴を母子健康手帳で確認してください。
- 麻しんの罹患歴がなく、麻しんワクチンの接種記録が1歳以上で2回ない場合には、直ちに（可能であれば72時間以内に）接種を検討してください。ただし、定期接種対象者（1歳または小学校就学前1年間）以外は自費となります。



症状が出たら、受診の前に連絡を

- 健康観察期間中に症状が出た場合は、まず、当院に連絡してください。
- 受診が必要となった場合、注意事項などをお伝えしますので、必ず当院の指示に従うようお願いします。
- 不特定多数の人と接する機会の多い公共交通機関の利用は、できる限り控え、自家用車などでの受診にご協力ください。

連絡先・問合せ先